



(6) 高校期 (16～18歳)

高校期の保護者に向けて応援メッセージ

高校生はある程度「大人」です。高校生活は、親（保護者）や家族から離れて、自分で考えて行動することが多いです。

しかし、時には失敗や挫折を経験します。その時は人生の先輩として、よき相談相手となって！

この時期は、こどもを一個人として信じ見守るとともに、人としての生き方を語り合いながら、社会人としての自立を支援することが大切です。

自分の個性への誇り

- 思春期の混乱から脱却し、大人の社会を展望しながら生きる課題を真剣に模索し始める。
- 親（保護者）から心理的に離れ、自分を客観的に見つめ、自立する。（親離れ）
- 家族や周囲との関係の中で、自分のあり方を決める。
- 自分らしさを見据えながら将来を描き始める。
- 社会人となることや親（保護者）となることをイメージし始める。

保護者の関わりは？

- ☆ 自立に向けての助言を心掛けましょう。
 - ・ 親（保護者）の生き方を語る。
 - ・ こどもに願う生き方を伝える。
 - ・ こどもの考えを受け止めながら語り合う。
- ☆ 自立した一個人として接しましょう。
 - ・ こどもを信頼する。
 - ・ こどものよいところを言葉で伝えるなど、愛情を伝え続ける。
- ☆ 18歳成人であることの自覚をもたせましょう。
 - ・ 選挙権や自分で契約（クレジットカード、婚姻等）ができることを自覚させましょう。（主権者教育・消費者教育）
- ☆ 自分の力でコントロールできる18歳に向けた準備をしましょう。
 - ・ ネットトラブルに巻き込まれたときの相談窓口の確認をする。

（※ こども家庭庁 ICT社会へ送り出す前のサポートをするために♥ 保護者がおさえておきたい4つのポイント 生徒編より）